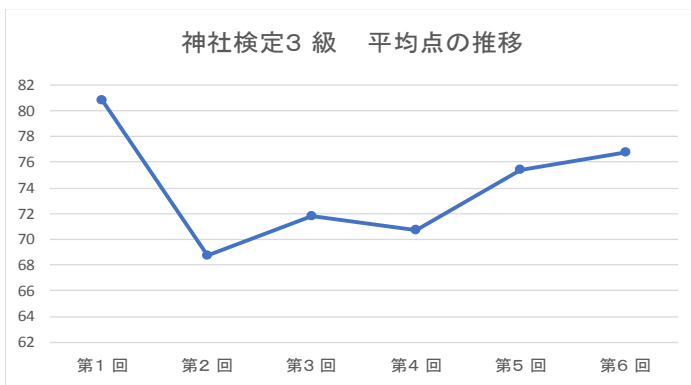


はじめに

3級の問題系統について…選択・単答問題か？文章を読んでその中にある□を埋めるのか？
あるいは、文章の傍線部について、答える問題か？
平均点は第3～4回は70点程度であるが、第5～6回は、おおよそ75点を超えるか超えないかの程度となっており、難易度としては、今回の第7回はここ2回の難易度、つまり75点くらいを目安にすると良いのでは？

(図1 平均点の推移)



(表1 出題テキストの概要)

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
『神社のいろは』	55問	53問	50問	53問	70問	70問
その他テキスト	43問 (『神話のおへそ』)	44問 (『遷宮のつぼ』)	50問 (『日本の祭り』)	47問 (『万葉集と神様』)	30問 (『古語拾遺』)	30問 (『日本書紀』)
『皇室』誌	2問	3問	なし	なし	なし	なし

今回も公式テキストから100%出題

前回、前々回ともに『古語拾遺』、『日本書紀』から約3割とあり、ぴったり3割(30問)が出題。これまでの傾向からは約3割とあるので、3割強は出る可能性があるのではないかと考えられるが、『遷宮のつぼ』の時は、44問。3割ぴったりよりも35%くらいの出題の可能性が高いと見て受けるとうい。『神社のいろは』の出題との兼ね合いも考えられるのでは…)

出題傾向(『神社のいろは』)

	第1章	第2章	第3章	第4章	第5章	第6章	第7章	第8章	合計
第1回	3	10	14	11	6	5	4	2	55
第2回	8	7	15	7	2	9	1	4	53
第3回	5	8	16	0	1	10	6	4	50
第4回	10	8	16	6	3	5	3	2	53
第5回	9	14	20	8	1	7	4	7	70
第6回	6	6	18	10	2	13	7	8	70
合計	41	53	99	42	15	49	25	27	351
出題平均数	6.8	8.8	16.5	7.0	2.5	8.2	4.2	4.5	58.5

*** テキスト『神社のいろは』について ***

3級テキストの一つ『神社のいろは』については、神社検定基本テキストの基本中の基本。
このテキストから 351 問も既に出題。問題としては、テキストの内容・本文に忠実な問題が出題されているが、他の章と混淆した問題も増えてきている。

351 問も出題されているということは、過去問にあたることも大事。

いつの過去問に注目すべきか？

⇒傾向が変わるとすれば、前々回あたりが要チェックか？

おおよそ第1章～第4章で 40 問～50 問が出される傾向（第5回では 51 問）

とくに第3章までをきちんと解けるかが勝負の分かれ目か

いわゆる本当に単純な短答問題、選択問題は、前回で 18 問。全体で 70 問が『神社のいろは』からだだとすると、文章を読んで の答えを埋める問題や文章の中の傍線部について答える問題が昨年は多かったということ。一方で第5回は、単純な短答・選択問題が多く、70 問のうちの 42 問が出題。

（一方で、第4回は 16 問）

これまでの傾向から考えても過去問をあたっておき、文章題が出てもよいようにしておく、また、これまで頻出の問題、あるいはその年にかかわるトピック的な問題（例えば、本年であれば皇室にかかわる問題など）は必ず解いておくと良いのではないか。

(例) 第4回（平成27年）の問96、98

三種の神器とは歴代の天皇が継承されるものです。現在、御鏡のご分身は、皇居内にある宮中三殿の というところでお祀りされています。また、神剣のご分身と勾玉は と称され皇位継承の証とされ今に至っています。

下線部の三種の神器とは違うものを選んでください。

1. 八咫鏡
2. 天叢雲剣
3. 八坂瓊曲（勾）玉
4. 悠紀主基璽

に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 剣玉
2. 神剣貴璽
3. 剣璽
4. 剣勾瑞宝

↓（問題が変わって出題している・・・？）

第5回（平成28年）の問60

三種の神器とは、八咫鏡、天叢雲剣（草薙剣）、八坂瓊曲玉（八尺勾玉）をいいますが、以下の記述のうち、この三種の神器の説明として正しくないものを選んでください。

1. 歴代の天皇が皇位とともに継承されるものである。
2. すべて神宮に祀られている。
3. 由来は「記紀」神話などに書かれている。
4. 剣と勾玉は剣璽と称される。

第6回（平成29年）問49、問50

三種の神器とは歴代の天皇が継承されるものです。そのうち神剣のご分身と勾玉は と称され皇位継承の証とされ今に至っています。

下線部の三種の神器とは違うものを選んでください。

1. 八咫鏡
2. 天叢雲剣
3. 八坂瓊曲（勾）玉
4. 悠紀主基璽

ア)に入る言葉として正しいものを選んでください。

1. 剣玉 2. 神剣貴璽 3. 剣璽 4. 剣勾瑞宝

第4回の問 87

神前結婚式が広く普及するきっかけになったのは、当時、皇太子でいらした大正天皇のご婚儀です。この明治 33 年のご婚儀で、民間での神前結婚式の関心が高まり、翌年「日比谷大神宮」で神前模擬結婚式が公開で行われ、同年、一般の人の結婚式が同神宮で行われました。この日比谷大神宮とは現在の何という神社でしょうか。

1. 明治神宮 2. 日枝神社 3. 東京大神宮 4. 日比谷神社

↓ (問題が変わって出題している・・・?)

第6回 (平成 29 年) 問 32

神前結婚式は、あることがきっかけで明治以降に広く普及するようになりました。そのきっかけとは何でしょうか。

1. 有名芸能人が神社で行った
2. 皇室のご婚儀
3. 有名作家が神社で行った
4. 大ヒット小説のなかで描かれた

というように、問題文そのものの文章が少し変わる可能性もあるものの、答える部分、つまり大事な箇所が、度々変わって (文章を入れ替えたり、出題が単純短答となったりして) 出題される可能性もあるのではないかと

☆『神社のいろは』のテキストの見方について

(『神社のいろは』についての概略)

第1章…身の回りの神社について (神社の中で普段私たちが接して目に付くもの)

第2章…神社における参拝作法

第3章…各神社の信仰 (著名神社とその全国への信仰分布の経緯) →いわゆる神社史

第4章…神社祭祀と神職について (いわゆる一般的なお祭りが中心ではなく、神社における祭りの区分、諸祭式も)

第5章…家庭祭祀と伝統習俗的な祭祀について

(家庭内における神のお祀りの仕方、地鎮祭や上棟祭、神葬祭など)

第6章…伊勢神宮 (お伊勢さん) について

伊勢神宮についての一般的な知識および神宮祭祀の基礎知識

第7章…皇室祭祀について (皇室のお祭り)

祭祀の根幹たる三種の神器と宮中三殿、神社と皇室との深い関わりを示す勅祭社

第8章…神社にかかわる制度の変遷・歴史

一宮・式内社など古代・中世・近代の社格について

(各章の内容について)

第1章

神社境内における建物の基本的配置

代表的な鳥居 明神鳥居と神明鳥居

本殿・拝殿について

本殿 (正殿) 神体山 大神神社

神籬・磐境 磐座 古代祭祀遺跡 ご祭神 依代…御霊代

拝殿があって本殿がない神社 本殿があって拝殿がない神社?

庭上座礼（屋外で神々をお祭りしていた名残）
千木・堅魚木 内削ぎ、外削ぎ
神社の建築様式（28頁）
神明造 大社造 住吉造（仏教伝来以前〔奈良時代以前に形成された様式と呼ばれるもの〕）
春日造以降…仏教伝来後 一番多いもの…流造
摂社・末社（一般神社）
神宮では 別宮 摂社 末社 所管社
名称 神宮・大社・宮・神社
かつては 神宮…伊勢 大社（たいしゃ）おおよしろといえは…出雲大社
屋代 御屋
狛犬 神使 神社で代表的な石造物 春日灯籠
社紋・神紋

第2章

手水＝禊の簡略化といわれるが…手水を取る
参拝の際 賽銭 賽…御礼、感謝 散米、散銭 鈴…魔よけ
二拝二拍手一拝 拍手…日本独自 魏志倭人伝…貴人に対して手を打つ
多様な拝 神宮 出雲大社
榊…国字 境の木 栄の木 常磐木
数え方…体 柱 座 基

第3章

各神社の信仰について
八幡 天神 諏訪 春日 祇園 住吉 熱田 出雲 鹿島・香取 浅間 熊野

第4章

神社祭祀と神職について
まつりの語源 単なるイベントではない 神がいることが一番
お祭り 神社で行われる祭祀（共通） 大祭 中祭 小祭とわけられる
大祭で大事なもの
臨時に行われるもの
神社祭祀の次第
ご神幸 神輿 渡御と還御
大祓
神職 職掌と身分

第5章

家庭祭祀
宮形 納め方 三社造 一社造
注連縄 左が細い 右が太い
神葬祭と祖霊祭祀
御霊舎 神棚とは別 霊璽
神道のお墓 地鎮祭

第6章

神宮について 恒例のお祭り 式年遷宮について
なぜ20年か 延喜式 御用材 神宮林 撤下古材

お伊勢参り 御師について

*お伊勢さんにかかわる問題は、『伊勢神宮と、遷宮のかたち』との兼ね合いもあるので、テッパンの問題として解いておくべきでは？

第7章

皇室祭祀についての概要 宮中三殿（賢所・皇霊殿・神殿）および山陵で行う

勅祭社について 16社 伊勢の神宮以外で16社

恒例祭祀と臨時祭祀 大祭（天皇陛下みずからがお祀りされる）、小祭（天皇陛下が参列、拝礼 掌典長が祀る）臨時祭祀は式年祭

皇室の問題も明年の即位礼および大嘗祭の問題もあることから、何かしら出題が増えるのではないか？？

第8章

社格制度

（参考文献）藤本頼生『神社と神様がよくわかる本』秀和システム 40～45頁をできれば参照されたい。

近代の社格も基本的には古代の社格がわからないと理解できない。

一宮制についても押さえる

8章も近年出題が増えている点は要注意。（去年は6章も）

●『伊勢神宮と、遷宮のかたち』の概略について

ほぼ30%～35%が出題されるとして→落したくない30%。大事なところ

『伊勢神宮と、遷宮のかたち』の本の特徴を知る

このテキストでは大事なところは…太字となっている点に留意。

* 以前基本テキストとして出題された『遷宮のつぼ』に追加された部分もあり、出題されるテキスト⇒どこに大事な点が書かれているか？

『遷宮のつぼ』→第62回の神宮式年遷宮が斎行される前に出されたテキストである点に留意。

「はじめに」の中の文章自体、そのものが出題されるわけではないが、まずは「はじめに」を見ること！このテキストの出題のミソがわかる

ねらいは→『遷宮のつぼ』に記されなかった最新情報・・・平成25年2月以降の祭儀をもう一度チェックすべきか。

今回は3級・・・テキストの第一章の祭儀を中心に太字をみておく

⇒『遷宮のつぼ』の復習とともに…第2回においての出題傾向は必ず押さえておきたい

本テキストの内容を知る

はじめに 遷宮の概要

カラー口絵

第1章 神宮式年遷宮

神宮式年遷宮とは何か

神宮のなりたちと祭り

遷宮までの道のり

第2章 それぞれの遷宮

おわりに 遷宮のこころ

(ポイント)

- ・まず、最初におさえておくべきは、3級なので、本当に基礎的事項から！
つまり5W1H的な事項を押さえておく！必要。
伊勢神宮とは何かという点での基礎的事項を探ると…
→例えば、正式名称は？ 125社の総称であるとか
ご正宮（内宮・外宮）の正式名称とか
内宮の別宮、外宮の別宮はどんな社があるか。
遠隔地にある別宮（遙宮）は？
神宮はそもそも天皇陛下が自ら祭祀を執り行うべき「〇祭」のお社
神宮の祭祀を司るトップは誰か？ どんな役職か？
神職の拝礼の仕方は？（宇佐や出雲との比較で考えてみると…）
神宮の祭りで日々行われている祭りは〇祭か？
神宮の年間の祭りで一番重要なもの、特徴的なものは何祭か？
例) 三節祭は〇〇祭、〇〇祭、〇〇祭を指す
五大祭は〇〇祭、〇〇祭、〇〇祭、〇〇祭、〇〇祭を指す

伊勢神宮の式年遷宮はいつ始められたか、誰の発意でなされたことか。
あるいは伊勢神宮の創祀（内宮・外宮）年と誰天皇の御代に創祀されたかについて、つまり、それまでは神鏡はどこに祀られていたのか。何天皇の御代に伊勢へと祀られることになったのか・・・
など
例) 第一回の式年遷宮はいつか、いつの天皇の御代か？
内宮の創祀年はいつか？

創祀にかかる問題として、ぜひ基本的な用語として覚えておきたいものは…
例) 崇神天皇・崇り・大和笠縫邑・倭姫命・御杖代・豊鋤入姫命（外宮なども含め）
天照大神のご神託…『日本書紀』→神風の伊勢の国は・・・など
遷宮の方は…

遷宮諸祭のプロセスを基礎用語から押さえておく
祭りの順番 …例えば、最初に行われるのは→山口祭と木本祭はどちらが先？
諸祭の特徴……御杣山で行われるのは？
川で曳かれるのは？
諸祭の時にお供えものとして登場する動物は？
遷御の儀より4年前に行われるのは「〇〇〇〇〇式」
言葉…例えば「御治定」、「心御柱」とは？
一般の建築儀礼との比較で覚えてみる
…例えば一般の家を建てる際に行なう地鎮祭は式年遷宮では→「鎮地祭」
〃 上棟祭は式年遷宮では→「上棟祭」

遷宮諸祭の奉仕する側として特徴的なものは何か？
→童子（男女）が祭祀の諸役「物忌」として登場する点
一般の人々に関われる行事は…御白石持行事
クライマックスの部分にも注意
御鎮祭
御装束神宝読合
川原大祓
遷御
奉幣